



平成31年4月8日  
十日町市観光交流課

## 『大地の芸術祭』の里 越後妻有 2019 春」の開催について

越後妻有の春の魅力を発信する「『大地の芸術祭』の里 越後妻有2019春」を開催します。過去20年にわたる芸術祭の軌跡を振り返る「大地の芸術祭プレイバックツアー」をはじめ、拠点施設での企画展や春の恵みを味わう食のプログラムなど盛りだくさんです。新しく完成した2019年版ガイドマップを片手に多くの方々から楽しんでいただけるよう報道機関の皆様からは、事前周知並びに取材にご協力をお願いします。

### 1. 開催期間

平成31年4月27日（土）～5月6日（月・振替休日）

### 2. 主なプログラム

#### （1）大地の芸術祭プレイバックツアー

過去の芸術祭の軌跡を振り返る、ランチ・ガイド付のバスツアーを運行します。

#### （2）2019 春の展覧会

各拠点で企画展を開催するほか、春の恵みを味わうスペシャルランチを提供します。

### 3. 料金

#### （1）大地の芸術祭プレイバックツアー

大人12,800円、小中学生9,800円（昼食代、作品鑑賞代などを含む）

#### （2）2019 春の展覧会

共通チケット 大人2,000円、小中学生500円（小学生未満無料）

### 4. 2019 年版「大地の芸術祭」の里 ガイドマップ

約200のार्टを掲載した2019年版のガイドマップ（100円）が完成しました。

十日町市役所本庁・各支所、十日町市総合観光案内所、越後妻有里山現代美術館[キナーレ]、まつだい「農舞台」などで4月10日（水）以降順次販売を開始します。

### 5. 添付資料「『大地の芸術祭』の里 越後妻有 2019 春」チラシ及びパンフレット

#### ■お問合せ先

十日町市観光交流課 芸術祭企画係

担当：石井 晃 ☎025-757-2637（内線519）

TO 報道関係者各位  
FROM NPO法人越後妻有里山協働機構  
DATE 2019年4月吉日

# 「大地の芸術祭」の里 越後妻有2019春 4/27～5/6 10days

このたび、NPO法人越後妻有里山協働機構（新潟県十日町市・津南町）は、春のイベントプログラム「『大地の芸術祭』の里 越後妻有2019春」を開催します。春の野外アート一斉公開や、各美術館施設での春の新しい展覧会に加え、「大地の芸術祭プレイバックツアー」を新発売します。ぜひ、ご取材・掲載のご協力をお願い申し上げます。

## 1. 2019春版「大地の芸術祭プレイバックツアー」発売！

2000年から3年に1度開催し、2018年には第7回を迎えた「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」。今では約200のアートが点在し、里山とアートが融合した「大地の芸術祭」の里として、国内外から観光客が訪れています。

2019年度、20年にわたる大地の芸術祭の軌跡を、各年代の作品とともに振り返る、ランチ・ガイド付きのバスツアーを運行します。

10連休のゴールデンウィークには、年代別に、2種類の日帰りコースを隔日開催！  
(ゴールデンウィーク以降も定期的に運行予定。)

### Part1 2009-2018

2018～2009年を振り返り、最新の人気作品や春の展覧会が始まる美術館を巡るコース。リニューアル後に大人気となり、「日本博」Webサイトでも紹介されている、清津峡渓谷トンネルの作品は必見。

運行日：4/28、30、5/2、4、6



### Part2 2000-2006

第1～3回展に制作された初期の名作を辿ります。国内初の大規模回顧展を開催中のクリスチャン・ボルタンスキーの名作「最後の教室」が見られるのはこのコースだけ。

運行日：4/27、29、5/1、3、5



# 「大地の芸術祭プレイバックツアー」お申込み情報

料金(1コースあたり): **大人12,800円、子供(小中学生)9,800円**

(バス代、昼食代、保険代、作品鑑賞代、ガイド代含む)

集合: 越後湯沢駅東口 10:00頃

解散: 越後湯沢駅東口 18:00頃

見学作品(Part1 2009-2018コース)

清津峡渓谷トンネル、絵本と木の実の美術館(2009年制作)、越後妻有里山現代美術館[キナーレ](2012年改修)、ジミー・リャオ「Kiss & Goodbye」(2015年制作)、レアンドロ・エルリッヒ「Palimpsest」(2018年制作)ほか



見学作品(Part2 2000-2009コース)

ジェームズ・タレル「光の館」(2000年制作)、まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」(2003年制作)、草間彌生「花咲ける妻有」(2003年制作)、クリスチャン・ボルタンスキー+ジャン・カルマン「最後の教室」(2006年制作)、鞍掛純一+日本大学芸術学部彫刻コース有志「脱皮する家」ほか



## ■ 申込方法 ■

電話で: 越後交通株式会社 0258-29-1515

Webで: [www.echigo-kotsu.co.jp](http://www.echigo-kotsu.co.jp) (越後交通)

<https://www.asoview.com> (asoview!(アソビュー))

## ★ おすすめポイント ★

- ① ツアー限定の公開作品・・・人気の空家・廃校作品をツアー参加者限定で公開します。
- ② アートな空間でのお食事・・・アーティストが手掛けた空間で、地元の食材を使ったお料理をご提供。
- ③ 里山の原風景・・・日本の里百選「星峠の棚田」など、今も残る里山の風景にも出会えます。
- ④ 大地の芸術祭スタッフがガイド・・・「大地の芸術祭」の里で働くスタッフが、バスに同乗してご案内。



越後まつだい里山食堂  
「里山ビュッフェ」 4/28、30、5/1-6



うぶすなの家「山菜ビュッフェ」  
4/27、29



星峠の棚田 (Part1)

## 2. 2019春の展覧会

各美術館の鑑賞券がセットになったお得な「春の共通チケット」で巡る展覧会。対象施設をご紹介します。

### マ・ヤンソン/MAD アーキテクト

#### 「Tunnel of Light」(清津峡溪谷トンネル内)

2018年夏にアート作品としてリニューアルされた清津峡溪谷トンネル。

- ・時間：8:30～17:00 (最終入館16:30)
- ・個別料金＝一般600円、小中学生300円



### 磯辺行久記念 越後妻有清津倉庫美術館 [SoKo]

#### 「河口龍夫一時の羅針盤」

展示しながら、保管するという新しい発想の元に誕生した「清津倉庫美術館」。大地の芸術祭参加作家の河口龍夫の作品を展示します。

- ・日時＝4/27(土)～5/6(月祝) 10:00～17:00 (最終入館16:30)
- ・個別料金＝一般800円、小中学生400円



### 鉢&田島征三 絵本と木の實の美術館 創立10周年記念企画展

#### 「マオシャン・コニーは、ここからはじまった」

香港の絵本作家マオシャン・コニーの作品展。

ワークショップや田島征三とのスペシャル対談を開催。

- ・日時＝4/27(土)～9/16(月祝) 水木休 10:00～17:00 (最終入館16:30) ※5/1(水)・2(木)は開館
- ・個別料金＝一般800円、小中学生300円
- ・イベント：4/27(土) 13:30～「スペシャル対談」  
(料金：入館料を含む)



### うぶすなの家 「春の山菜まつり」

茅葺き屋根のやきものミュージアム&レストランが3日間限定開館。

陶芸家が手掛けた器でいただく「山菜ビュッフェ」に山菜採りのイベントも。

- ・日時＝4/27(土)、28(日)、29(月祝) 10:00～16:00
- ・個別料金＝見学一般500円、小中学生250円
- 「山菜ビュッフェ」1,500円(入館料別途) 11:00～なくなり次第終了
- ・イベント：「願入で山菜採り！」10:30集合 参加費2,500円(昼食付、入館料別途、要予約)



## 越後妻有里山現代美術館 [キナーレ] 「土地の見る夢」 蓮沼昌宏

芸術祭2015の人気作品が再登場。作家が妻有で出会った世界が12編の  
パラパラマンガになって、めくるめく夢のイメージを現します。

- ・日時=4/27(土)~7/15(月祝)水休(5/1は開館)
- ・個別料金=一般800円、小中学生400円
- ・イベント:5/4(土)、5(日)13:30~

YORIKO「子どもイラストレーターさん大募集!」 300円



## まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」

### 「まつだい山菜ラボラトリー」

越後妻有の春の主演「山菜」をテーマに、ハーバリウムの山菜図鑑や  
里山食堂の秘密のレシピを特別公開。収穫体験やお料理教室なども。

- ・日時=4/27(土)~6/16(日)10:00~17:00(最終入館16:30)
- 水休(5/1は開館) ・個別料金=一般500円、小中学生250円



## 奴奈川キャンパス

中国の漫画家、Tangoの作品を公開。米澤文雄シェフ監修の  
TSUMARI KITCHENも期間限定オープンします。

- ・日時=4/27(土)~29(月祝)、5/3(金)~/6(月祝)
- 10:00~16:00(最終入館15:30) ※TSUMARI KITCHENは4/27は休
- ・個別料金=一般500円、小中学生250円



## ギャラリー湯山 「BOX ARTの新展開」

全国40名の作家によるBOX ART展。BOXの解釈・定義、素材、手法などすべて  
自由で、新たな“BOX ART”の世界と可能性に迫ります。

- ・日時=4/27(土)~6/23(日) ※土日祝のみ 10:00~16:00
- ・個別料金=一般300円、小中学生150円



## 「森の学校」キョロロ 企画展「花ごよみ~雪里の季節の彩~」

里山の季節の花々の移り変わり「花ごよみ」をテーマに、  
雪里特有の植物の多様性、人々との生活との関わりを紹介。

- ・日時= 開催中~2019/6/30(日) 9:00~17:00(最終入館16:30)
- 火休(4/30は開館) ・個別料金=一般500円、小中高生300円



## 「ジェームズ・タレル「光の館」

光のアーティスト、ジェームズ・タレルの作品として  
生まれた宿泊施設。日中は見学可。

- ・時間:11:30~15:30 ・料金=一般600円、小中学生300円



### 3. 2019年版ガイドマップ発売！野外アートも一斉公開

約200のアートを掲載した「大地の芸術祭」の里のガイドマップ（100円）の2019年版を発売！作品番号が印された地図と、写真つき。野外アートも雪解け後順次公開し、春の日差しのもと、アートマップを見ながら、里山散策が楽しめます。

マップ販売場所：十日町市総合観光案内所（十日町駅西口）、越後妻有里山現代美術館 [キナーレ] ほか



### 4. 泊まれるアート&小学校

空家や廃校を活用したアートな宿。



**夢の家**  
マリーナ・アブラモヴィッチが手掛けた、夢を見るための宿泊体験ができる作品。  
4/27(土)～5/5(日)宿泊可

**脱皮する家**  
鞍掛純一＋日本大学芸術学部彫刻コース有志が壁や床を彫刻刃で彫り、家屋の新たな一面が表出された名作。  
4/27(土)～5/5(日)宿泊可

**かたくりの宿**  
秘境・秋山郷の廃校の宿。和室で温泉つき。山菜料理が自慢の特別宿泊プランも。

※ご予約はHPへ  
※三省ハウスは10名様以上の団体利用対象

### 5. 越後妻有2019春 共通チケット

一般2,000円、小中500円（小学生未満無料）  
有効期限＝4/27(土)～5/6（月祝）

この1枚ですべての作品や施設が見学できます。  
（※プレイバックツアー限定公開作品は除く）

販売場所：キナーレ、農舞台、越後妻有オンラインショップほか



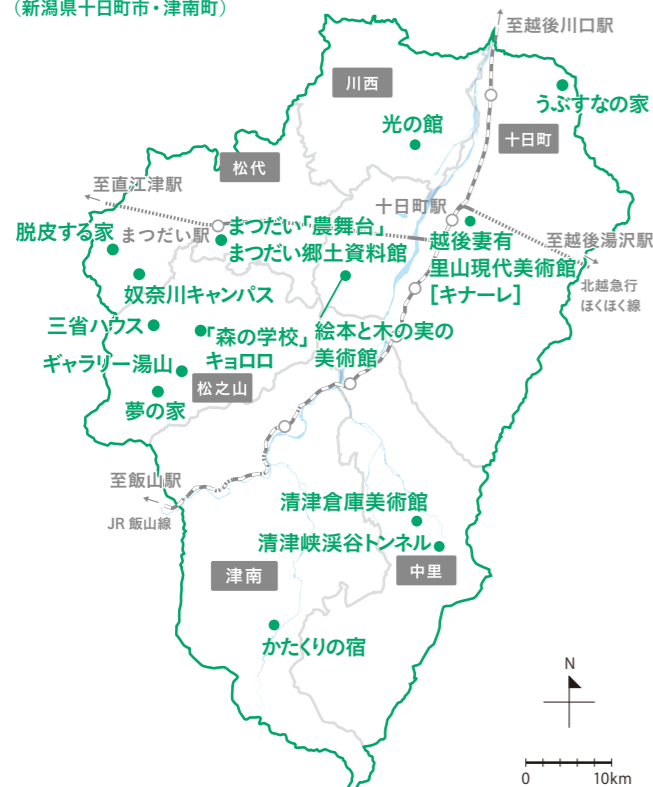
ぜひご取材・ご掲載いただきますようお願い申し上げます。

#### 【本件に関するお問い合わせ】

「大地の芸術祭の里」総合案内所（担当：山口、芝山）  
〒948-0003新潟県十日町市本町6 越後妻有里山現代美術館[キナーレ] 内  
TEL 025-761-7767 Email: info@tsumari-artfield.com

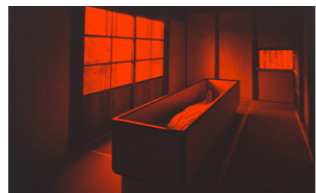
## ●「大地の芸術祭」の里マップ

(新潟県十日町市・津南町)



## ●アートに泊まる ※ご予約はHPへ

アート作品・生まれ変わった小学校を活用した宿で特別な体験を



### 夢の家

マリナ・アブラモヴィッチが手掛けた、夢を見るための宿泊体験ができる作品。4/27(土)～5/5(日)宿泊可



### 脱皮する家

鞍掛純一+日本大学芸術学部彫刻コース有志が壁や床を彫刻刃で彫り、家屋の新たな一面が表出された名作。4/27(土)～5/5(日)宿泊可



### かたくりの宿

秘境・秋山郷の廃校の宿。和室で温泉つき。山菜料理が自慢の特別宿泊プラン(下記)も。「秋山郷の恵みを堪能する 春～山菜～」日程:5/6(月祝)～6/9(日)



### 三省ハウス

木造教室に2段ベッドを備えたドミトリタイプの宿。 ※10名様以上の団体対象

## ●10daysカレンダー

		4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
イベント	キナーレ								13:30～YORIKO イベント	13:30～YORIKO イベント	
	「森の学校」キョロロ	5:00～探鳥会	13:00～里山の生き物探検	13:00～里山の生き物探検	13:00～山菜探し	13:00～土の中の生き物探し	13:00～里山の生き物探検	13:00～里山の生き物探検	10:00～ブナの森のようちえん 13:00～山菜探し	13:00～里山の生き物探検	13:00～里山の生き物探検
	絵本と木の実の美術館	13:30～「スペシャル対談」	10:30～「録のマップをつくらう」								13:00～「おかえりしずか」
	奴奈川キャンパス		10:30～FC越後妻有サッカー教室								10:30～FC越後妻有サッカー教室
	うぶすなの家	10:30～願入で山菜採り!	10:30～願入で山菜採り!	10:30～願入で山菜採り!							
ツアー	Part1 2009-2018		●		●		●		●		●
	Part2 2000-2006	●		●		●		●		●	
食	TSUMARI KITCHEN (奴奈川キャンパス内)		●	●				●	●	●	
	うぶすなの家	●	●	●							
宿泊	脱皮する家、夢の家	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

※キナーレ、農舞台(里山食堂・まつだい郷土資料館含む)、キョロロ、絵本と木の実の美術館、清津倉庫美術館、清津峡渓谷トンネル、光の館、ギャラリー湯山は10日間連日開館  
※各イベント・展覧会の詳細は、チラシ中面またはHPをご確認ください

## ●越後妻有2019春 共通チケット

一般 | 2,000円  
小中 | 500円 (小学生未満無料)  
有効期限 | 2019/4/27～5/6  
販売場所 | 越後妻有里山現代美術館[キナーレ]、まつだい「農舞台」、越後妻有オンラインショップほか

## ●まつだい棚田バンク里親募集!

大地の芸術祭のネットワークを活かして取り組んできた棚田保全活動は、今や里親(オーナー)数・耕作面積ともに日本一となり、「大地の芸術祭」の里の活動を支えるプログラムとなりました。まつだい棚田バンクの「里親」となって、活動に参加しませんか?

お問い合わせ・ご予約(「大地の芸術祭の里」総合案内所)

TEL | 025-761-7767 E-MAIL | info@tsumari-artfield.com

www.echigo-tsumari.jp



平成30年度文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業

Photo: Anzai, Kazue Kawase, Keizo Kioku, H.Kuratani, Osamu Nakamura, Hiroshi Noguchi, Ayumi Yanagi, Noriko Yoneyama

ECHIGO-TSUMARI  
ART FIELD 2019 SPRING

# 「大地の芸術祭」の里

えちごつまり  
越後妻有  
2019春

注文はすいぶん多いでしょうがどうかいちいちこらえてください

2019.4.27.SAT—5.6.MON 10days

白井美穂(西洋料理店 山福軒) Photo: Osamu Nakamura

# 「大地の芸術祭」の里 越後妻有2019春 10days

新潟県十日町市、津南町で2000年から3年に1度開催してきた大地の芸術祭を機に、数々のアートが誕生し、今では屋内外に約200のアートが点在する「大地の芸術祭」の里。雪が解けて春を迎えた里山で、いよいよ野外アートの一斉公開です。拠点施設での春の展覧会もスタートします。そしてついに、2019春版「大地の芸術祭プレイバックツアー」(ランチ・ガイド付き)発売!ぜひ足をお運びください。

## 里山の野外アートを一斉公開

春の日差しのもと、アートマップを見ながら、約100の野外アートが点在する里山を散策しましょう。  
※雪解け後順次公開。公開状況はHPをご覧ください。



## 2019春の展覧会を巡る

越後妻有の各美術館の鑑賞券がセットになったお得な「春の共通チケット」\*で、展覧会を巡りましょう。

※チケットの詳細は裏面参照  
※最終入館は閉館の30分前



### マ・ヤンソン / MADアーキテクト 「Tunnel of Light」

清津峡渓谷トンネルの空間がアートに!  
○時間 | 8:30~17:00  
○料金 | 一般600円、小中250円



### 磯辺行久記念 越後妻有清津倉庫美術館 [SoKo]

「河口龍夫-時の羅針盤」  
河口龍夫の作品展がニューオープン!  
○日程 | 4/27(土)~5/6(月祝)  
○時間 | 10:00~17:00  
○料金 | 一般800円、小中400円



### 絵本と木の実の美術館 創立10周年記念企画展 「マオシャン・コニーは、ここからはじまった」

香港の絵本作家マオシャン・コニーの作品展。ワークショップや田島征三とのスペシャル対談を開催。Hachi Caféのやさいどっさりカレーもどうぞ。  
○日程 | 4/27(土)~9/16(月祝)  
○時間 | 10:00~17:00/水木休(5/1・2は開館) ○料金 | 一般800円、小中300円



### うぶすなの家「春の山菜まつり」

茅葺き屋根のやさきみのミュージアム&レストランが3日間限定開館。  
○日程 | 4/27(土)、28(日)、29(月祝)  
○時間 | 10:00~16:00  
○料金 | 500円、小中250円、山菜ビュッフェ1,500円 11:00~なくなり次第終了  
○イベント | 願入で山菜採り! 10:30集合 参加費2,500円(昼食付、入館料別途、要予約)



### 越後妻有里山現代美術館「キナーレ」

「土地の見る夢」 蓮沼昌宏  
芸術祭2015の人気作品が再登場。作家が妻有で出会った世界が12編のパラパラマンガになって、めくるめく夢のイメージを現します。  
○会期 | 4/27(土)~7/15(月祝) ○水休(5/1は開館)  
○時間 | 10:00~17:00 ○料金 | 一般800円、小中400円  
○イベント | 5/4、5 YORIKO「子どもイラストレーターさん大募集!」 参加費300円



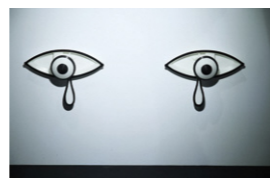
### まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」

「まつだい山菜ラボラトリー」  
越後妻有の春の主役「山菜」をテーマに、ハーバリウムの山菜図鑑や里山食堂の秘密のレシピを特別公開。収穫体験やお料理教室なども。  
○時間 | 10:00~17:00 ○水休(5/1は開館)  
○ギャラリ-展示 | 4/27(土)~6/16(日)  
○料金 | 一般500円、小中300円



### 奴奈川キャンパス

中国の漫画家Tangoの作品を公開。米澤文雄シェフ監修のTSUMARI KITCHENも期間限定ランチ営業\*。  
○日程 | 4/27(土)~29(月祝)、5/3(金)~5(日)  
※4/27はランチ休 ○時間 | 10:00~16:00  
○料金 | 一般500円、小中250円



### 越後松之山「森の学校」キョロロ

企画展「花ごよみ~雪里の季節の彩~」  
里山の季節の花々の移り変わり「花ごよみ」をテーマに、雪里特有の植物の多様性、人々との生活との関わりを紹介。  
○会期 | 開催中~2019/6/30(日) 火休(4/30は開館)  
○時間 | 9:00~17:00  
○料金 | 一般500円、小中高300円



### ギャラリー湯山

「BOX ARTの新展開」  
全国40名の作家によるBOX ART展。BOXの解釈・定義、素材、手法などすべて自由で、新たな「BOX ART」の世界と可能性に迫ります。  
○会期 | 2019/4/27(土)~6/23(日)の土日祝 ※4/27~5/6は無休  
○時間 | 10:00~16:00 ○料金 | 一般300円、小中150円



### ジェームズ・タレル「光の館」

光のアーティスト、ジェームズ・タレルの作品として生まれた宿泊施設。日中は見学可。  
○時間 | 11:30~15:30  
○料金 | 一般600円、小中300円



## 大地の芸術祭 プレイバック ツアー



20年にわたる「大地の芸術祭」の軌跡を、作品とともに辿ります。2種類の日帰りコースを隔日開催!

- 料金 | 大人 12,800円 子供(小中学生) 9,800円 (バス代、昼食代、保険代、作品鑑賞代、ガイド代含む)
- 最小催行人数 | 2名
- 集合 | 越後湯沢駅東口10:00頃
- 解散 | 越後湯沢駅東口18:00頃

### ▼おすすめポイント▼

① ツアー限定の特別公開作品

② アートな空間でのお食事



越後まつだい里山食堂「里山ビュッフェ」(4/28、30、5/1-6)



うぶすなの家「山菜ビュッフェ」(4/27、29) ※写真はイメージです

③ 里山の原風景

④ 大地の芸術祭のスタッフがガイド

### ツアー申込・お問合せ

電話 0258-29-1515(越後交通)  
Web www.echigo-kotsu.co.jp(越後交通) www.asoview.com(asoview!)

主催:越後交通観光営業部  
官公庁長官登録旅行業務第1-1417  
〒940-2103 新潟県長岡市千秋2丁目2788-1  
全国旅行業協会会員 日本旅行業協会協力会員

## Part 1 2009-2018 [運行日: 4/28、30、5/2、4、6]

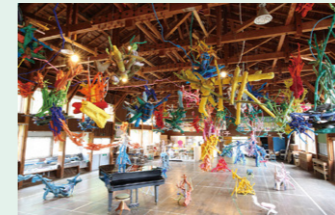
最新の人気作品や今春企画展覧会が始まる美術館施設を巡ります。初めての方におすすめ!

今すぐ申込み▶ (asoview!HP)



### 2009

廃校を活用したプロジェクトが本格化



絵本と木の実の美術館

### 2015

廃校利用の新しい美術館が誕生



ジミー・リャオ「Kiss & Goodbye」

### 2018

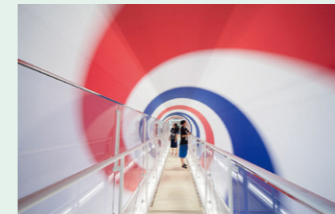
「地球環境時代の美術」



イ・ブル「ドクターズ・ハウス」

### 2012

キナーレが現代美術館としてリニューアルオープン



越後妻有里山現代美術館「キナーレ」



磯辺行久記念越後妻有清津倉庫美術館「SoKo」



レアンドロ・エルリッヒ「Palimpsest:空の池」



奴奈川キャンパス



マ・ヤンソン / MADアーキテクト「Tunnel of Light」

## Part 2 2000-2006 [運行日: 4/27、29、5/1、3、5]

第1~3回展に制作された初期の名作を辿ります。これを見ずして、「大地の芸術祭」は語れない!

今すぐ申込み▶ (asoview!HP)



### 2000

里山のランドマークとして、屋外の彫刻作品を点在



イリヤ&エミリア・カバコフ「棚田」



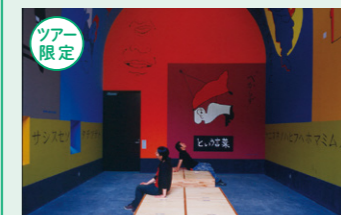
ジェームズ・タレル「光の館」



星峠の棚田

### 2003

大地の芸術祭の里の「ステージ」キナーレ、農舞台、キョロロの誕生



ジャン・ミッシェル・アルベローラ「リトル・ユートピアン・ハウス」



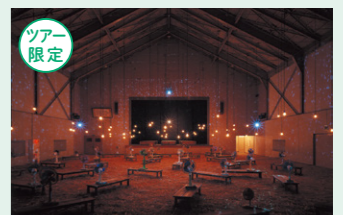
草間彌生「花咲ける妻有」



まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」

### 2006

2004年の中越地震をきっかけに、空家をアートとして再生する「空家プロジェクト」が始まる



クリスチャン・ボルタンスキー+ジャン・カルマン「最後の教室」



教掛純一+日本大学芸術学部彫刻コース有志「脱皮する家」



内海昭子「たくさんの失われた窓のために」